

生物多様性保全のためにできること

いろいろな生き物とそのつながりの知識を深めよう

海上の森・東山公園

国立公園に出かけてみよう！

国立公園はすぐれた自然の宝庫。
ビジターセンターでは、地域の自然を紹介した展示や自然観察会なども行われています。



- ★名古屋周辺にも自然を体験できる場所がたくさんあります。
- ★生き物同士のつながりに注目して、観察してみよう！
- ★動物園や植物園でも楽しく生き物の知識を深めることができます。

パンフレットで勉強しよう！

「いのちは支えあう～第3次生物多様性国家戦略～」
「生命はつながっている～生物多様性を考えよう～」



藤前干潟



～今日からできることを始めてみよう～

生物多様性を保全する。それは、生き物の恵みを得ながら人間社会が存続し続ける「持続可能で自然と共生する社会」を実現することです。そのためには、一人一人のライフスタイルの転換という小さな一歩から始まります。

日々の食生活で「地産地消」

- 地域（近所）でつくられた食材を買おう！
- 外食も地元の食材にこだわってお店へ！



「地産地消」とは、地域で生産されたものをその地域内で消費すること。地域で生産された食材を使うことで、身近な地域の農業や水産業についての新たな発見につながるかもしれません。また、輸送や保存のために必要なエネルギーの節約につながり、環境への負荷を減らすことができます。

「3R」にチャレンジ

- 買い物にはエコバックを持参！
- ものは大切に、くり返し使おう！
- リサイクル商品を使おう！



「3R」とは、ゴミの発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)のこと。

自然資源の大量消費による生産を続けていけば、限りある自然資源が枯渇。また、大量に消費すれば、処分するエネルギーも必要となり、処分する場所も必要。大量生産・大量消費は生物多様性に悪影響を及ぼします。

外来種を放たない・持込まない

- 外来種を入れない、捨てない、広げない！
- ペットも逃がさない！



長い時間をかけて成り立ってきた生物のつながり「地域固有の生態系」。外来種が入ることによって、その生態系が攪乱され、生物多様性の危機につながるおそれがあります。

地球温暖化を防ぐ

- クールビズ、ウォームビズを進めよう！
- 1人1日1kgのCO₂排出削減！
～部屋の電気をこまめに消す、省エネルギーの製品に買換える、自動車の運転も柔らかかに～

COOLBIZ

地球温暖化によって動植物の生息可能域が変化し、絶滅のおそれが増大するばかりでなく、農業や水産業への影響を通じて人間生活へも直接影響があります。地球温暖化を防止するための取組は、生物多様性の危機により生じる影響を回避する取組でもあります。

この取組を家族や友達に広げて、生物多様性を守る輪を広げよう！